

ミロ札幌招待 第26回コープさっぽろ杯サッカースポーツ少年団大会 開催要項

目的	サッカー少年の健全な心身の向上を図ると共に、より高度なレベルへのサッカー技術の向上をめざし、札幌のチームと北海道、全国のチームとの交流、親睦を深めることを目的とする。
主催	札幌地区サッカー協会
主管	札幌市サッカースポーツ少年団連盟
後援	コープさっぽろ、日刊スポーツ北海道支社、札幌市教育委員会、(一財)札幌市体育協会
協賛	ネスレ・ミロ
協賛	HTB北海道テレビ
運営	札幌市サッカースポーツ少年団連盟事務局・技術委員会
期日	平成26年7月26日(土)・27日(日)・28日(月)・29日(火)
会場	札幌サッカーアミューズメントパーク・東雁来公園グラウンド コンサドーレ札幌東雁来グラウンド・北電江別サッカー場
参加資格	①(公財)日本サッカー協会第4種に加盟したチームに所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。地域(市区町村単位等)の選抜チームを原則とし、チームの参加選手の半数以上は小学校6年生であること。 ②チーム構成は指導者3名、選手20名以内(フリー交代)を基準とする。 ③参加申し込み後の選手の変更、追加登録は大会当日の監督会議までとする。
参加チーム	申し込みを受け付け、32チームの出場を認める。(昨年度参加チーム) ア)本州より SELECTION AOMORI(青森県)・青葉FCユベントス(宮城県)・藤枝トレセン(静岡県) 市川IMFCフォックス(千葉県)・SCHフットボールクラブ(神奈川県) 沼津トレセン(静岡県)・広島高揚フットボールクラブ(広島県) 計7チーム イ)道内 千歳・空知・函館・とちか帯広・小樽・苫小牧・日高・北空知・室蘭 各トレセン 計9チーム ウ)札幌地区 計16チーム
競技方法	①試合方法は、予選リーグ(4チーム8ブロック)を行い、決勝トーナメント(各ブロック1位、2位の16チーム)と、3位トーナメント、4位トーナメントを行う。 ②予選リーグの順位決定方法は(1)勝ち点(勝ち:3点 引き分け:1点 負け:0点)(2)得失点(3)総得点(4)対戦相手(5)抽選で行う。 ③試合時間は、40分(20分-5分-20分)とする。順位決定トーナメントで勝敗の決しない場合はPK方式(5人)により次回進出チームを決定する。但し、準決勝と決勝は10分(5分-5分)の延長を行い、なお決しない場合はPK方式(5人)により決定する。
競技規則	①(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則2013/2014」による。 ②試合は11人制で行い、20名登録のフリー交替とし、メンバー表の提出を義務付ける。 ③試合開始30分前に、ユニフォームのチェックを義務づける。(フィールド・キーパー正副4着持参すること) ④大会において退場させられた者は次の1試合に出場できず、大会期間中に警告を2回受けたものは次の1試合に出場できない。退場の理由・内容によっては、札幌地区サッカー協会規律・フェアプレー委員会の判断により複数の試合、または一定期間の出場停止もあり得る。 ⑤使用球は、4号球(検定球)とする。 ⑥スパイクシューズは固定スタッドのものとし、金属あるいはプラスチック製取替スタッドのものは認めない。 ⑦審判は、主審1名・副審2名・四審1名の4名で行う。
ユニフォーム	①ユニフォームは(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規定を厳守すること。 ②上衣・パンツ・ストッキングは正のほかに副としてこれと異なる色の上衣・パンツ・ストッキングを携帯すること。 ③審判と類似の色の上衣を用いることはできない。
その他	①札幌市サッカースポーツ少年団連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ③グラウンドサイズについては、80m×54mを基本とする。